

地区だより

…………… 令和4年9月1日発行

ちゅうおう

<地区人口と世帯数>

男 18,963人 女 20,473人

計 39,436人

世帯数：20,929世帯

(8月1日現在)

2022

9月号

【編集発行】

福島市役所広聴広報課

〒960-8601 福島市五老内町3-1

☎525-3710 📠536-9828

市からのお知らせ

ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会を開催 ～個性と魅力あふれる地域を目指します～

「ふくしま共創のまちづくり計画」を推進し、個性と魅力あふれる地域とするため、中央地区で活躍する方々が中心となり今年度第1回目となるふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会を開催しました。

懇談会では、今年度実施する主催事業の企画・検討や、各団体が活用する地域コミュニティ等支援事業(市補助事業)の内容の確認などを行い、参加メンバーから活発に意見が出されました。

■問／地域共創課 ☎525-3731

【中央東地区】

通 称：中央東いろどりかいぎ
メンバー：25人



▲7月12日に市民会館で開催

【中央西地区】

通 称：三河台元気プロジェクト
メンバー：18人



▲7月4日にコラッセふくしまで開催

こんなこと
やっています！

中央地区では和やかな雰囲気づくりのため懇談会開催時に「アイスブレイク」を取り入れています。

今回は「最近イライラしたことを交えた自己紹介♪」でアイスブレイク！イライラの原因は初対面の方にも「共感」を得やすく、アイスブレイクにぴったりだとか！？

地区内の工事情報

工事箇所	路線名	工事種別	予定工期		備 考	担当課
			着工	完了		
南町地内	市道 南町・稲場線	道路改良工事	令和4年 8月上旬	令和4年 10月下旬	午前9時～午後5時 片側交互通行	道路建設課
宮下町地内	(都)曾根田町・桜木町線	道路改良工事	令和4年 8月中旬	令和5年 3月中旬	午前9時～午後5時 幅員減少・車両通行止め	道路建設課
上浜町地内	市道 舟場町5号線	道路側溝修繕	令和4年 9月上旬	令和5年 3月中旬	午前9時～午後5時 車両通行止め(夜間開放)	道路保全課

中央学習センターからのお知らせ

【編集】福島市中央学習センター
〒960-8018 福島市松木町1番7号
☎534-6631 ☎533-7592

福島市シニア向けスマートフォン利活用支援講座 「スマートフォン入門体験講座」

～学生がきめ細かくサポート、安心して楽しく学べます～

『スマホを使ってみたい!』『スマホでどんなことができるのか体験してみたい!』という方向けに、スマホの便利さや楽しさを体験していただきます。

●日時 令和4年 ①9月27日(火) ②10月1日(土) ③11月28日(月) ④12月4日(日)

●時間 午後1時30分～3時(終了予定)

●場所 中央学習センター 第1講義室

●内容 スマートフォンの電源の「オン・オフ」や画面操作、文字入力の方法など

●対象者 福島市在住の概ね65歳以上の方でスマートフォンの使い方には慣れない方又はお持ちでない方

●定員 各10名(先着順)

●講師 携帯ショップのスタッフ

※学生(大学生、短大生、専門学校生)、シニアICTサポーター等がきめ細かくサポートします。

●参加費 無料

●準備物 ご自身がお持ちのスマートフォン、筆記用具等

※スマートフォンをお持ちでない方には、スマートフォンをお貸しします。

●申し込み・問い合わせ先

(委託先)㈱マクサムコミュニケーションズ (平日 午前9時～午後5時45分まで)

【電話】080-8603-5545 080-8603-5546

【オンライン】URL : <https://www.task-asp.net/cu/eg/lar072010.task?app=202201046>



【QRコードより】

第53回中央地区文化祭について

新型コロナウイルス感染症対策を施しながら規模を縮小して行います。

◎芸能発表会「令和4年10月29日(土)～30日(日)：こむこむ館わいわいホール」

無観客、動画撮影

◎展示等「令和4年11月3日(木)～6日(日)：中央学習センター全館」

※詳細は10月以降の地区だよりをご覧ください。

※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては、内容変更になる場合もあります。



令和やさしい地元学

信夫野・歴史の細道 第18回

ふくしまけん歴史の案内人の会
(元福島県遺跡の案内人の会)

会長：紺野義行氏

米沢街道と福島街道

天正18年(1590)豊臣秀吉の奥州仕置により、伊達政宗は岩出山(宮城県北部)に移され、会津黒川城に蒲生氏郷が入部すると、氏郷は客将の木村吉清を大森城に配置した。まもなく大森城は杉目城(現：福島県庁)に移転され、庭坂・福島間の街道が重要となり整備された。慶長3年(1598)上杉景勝が120万石の会津若松城主となると、福島城代に水原親憲を置き、家老直江兼続の命により道路の改修工事を行い、福島と米沢を結ぶ米沢街道はしだいに整備されていった。

庭坂宿を通る米沢街道は、北に向かって進み、西に折れ更に北に折れて進むことを七度繰り返し、奥羽本線を超え黄金坂から吾妻山中に入り米沢へ向かっている。庭坂宿の南はずれの「町尻」に福島街道と米沢街道の追分として道標が立っている。楕円形の自然石に「南無阿弥陀仏」の六字名号があり、その下部に「左福島道」「右大森道」と刻まれている。現在はスーパーいちいの南西角、両街道の分岐点の北側に立っている。関ヶ原の合戦後、伊達・信夫は上杉領となり、米沢街道は上杉氏の参勤交代の道路として、あるいは廻米の輸送、特産品の全国市場への輸送路として確保された。福島街道は笹木野宿の町尻を過ぎ、八島田村へと曲折する。すぐ桃木町、本庄町である。ここは、慶長5年(1600)頃福島城代本庄繁長が開いたところといわれ、本庄町には繁長の別邸があり、桃木町には警備のため足軽が置かれていた。

しかし、寛文4年(1664)伊達・信夫は幕府領となり、阿武隈川の改修と舟運が始まると福島を起点とした笹木野宿を経て庭坂宿に達する福島街道が重視され、大森から八丁目宿で奥州街道に出る米沢街道は脇街道となった。寛文11年(1671)河村瑞賢によって阿武隈川舟運が開かれると、福島河岸には上杉藩御蔵がおかれ、廻米物産等の輸送が笹木野宿を通る福島街道に移った。明治に入り14年(1881)、県令三島通庸の道路行政による万世大路の開通によって、庭坂や笹木野を通る米沢街道・福島街道に大きな打撃を与えてその役目を終えたのである。



スーパーいちい前の道標